

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	協働の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	地方分権と市民参加の推進	担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動応援補助金」の活用促進を図る。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向けたプロポーザルを実施し、令和3年度からの計画に向けて事業者と協力して計画の策定を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動応援補助金」の活用促進を図り、新規事業である大学との協働事業を実施する。
②①に基づく取組み結果	「市民活動応援補助金」の継続事業として1件の補助を決定した。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向けたプロポーザルを実施し、事業者と協力して「協働のためのアクションプラン22」を策定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、自治会、市民公益活動団体、企業、市など多様な主体	意図(対象をどうするのか)	地域社会に共通する課題の解決や目標の実現に向けて協働の推進を図る。
②事務事業の概要	協働の推進を図るため、「鎌ヶ谷市 協働のためのアクションプラン22」に基づき、各施策を展開する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化しており、協働の重要性はますます高くなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市民活動応援補助金について、平成30年度からの継続事業1件の補助を決定した。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向けたプロポーザルを実施し、令和3年度からの計画に向けて事業者と協力して計画の策定を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	市民活動応援補助金実績報告件数	6	7	1	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	2,124	5,761	金額(千円)	内容		4,484	
国支出金(千円)			4,763	市民との協働戦略プラン(改訂版)策定委託			
県支出金(千円)			500	市民活動応援補助金			
市債その他(千円)			396	市民活動総合保険			
一般財源(千円)	2,124	5,761				4,484	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化や地方分権の進展などに伴い地域課題が多様化している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民団体との役割分担による事業や市民団体の活動支援を推進し、市民と市の協働を促進することで地域の課題を解決する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民活動推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	地方分権と市民参加の推進	担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動の支援を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動の支援を行う。
②①に基づく取組み結果	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動を支援した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動団体及び市民	意図(対象をどうするのか)	市民公益活動を行う市民を支援するとともに、市民のまちづくり意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベントの実施、情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化し、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっていることから、協働の担い手となる市民公益活動団体の強化や、市民活動を活発化させるための仕組みづくりが必要となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市民活動・男女きらりフェスタをオンラインで開催し、市の協働の拠点である市民活動推進センターの周知を行うとともに、プロジェクトマネージャーを市民公益活動団体へ積極的に紹介した。また、地域づくりコーディネーターを認定し、市民公益活動団体へ紹介した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	市民活動推進センター来所者数	6,256	5,251	734	人	業務取得
	ii	市民公益活動相談件数	155	149	119	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	4,052	4,786	金額(千円)	内容		5,030	
国支出金(千円)			1,385	講座等業務委託			
県支出金(千円)			1,253	パートタイム会計年度任用職員報酬			
市債その他(千円)			656	市民活動・男女きらりフェスタ負担金			
一般財源(千円)	4,052	4,786				5,030	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化や地方分権の進展などに伴い地域課題が多様化しており、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	協働の担い手となる市民公益活動団体の強化や、市民活動を活発化させるための仕組みづくりが必要となっているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	令和3年度からを計画期間とする次期「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」の策定を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	第3次計画について進行管理表の評価項目を見直し、関連部署が男女共同参画の視点を認識するため、周知等を行う。
②①に基づく取組み結果	令和3年度から8年度までを期間とする第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画(かがやきプラン)を策定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	職場や家庭、地域等様々な場での女性参画の推進を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	家庭や職場を含む地域社会で男女が協力し支えあいながら能力を発揮できる環境を醸成するため、市が主体的に取り組む事業であると考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	策定委員会の意見や実施した男女共同参画アンケートの結果を踏まえ、第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画を策定した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	審議会女性委員の割合	26.5	29.6	25.1	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	4,902	413	金額(千円)	内容		88	
国支出金(千円)			109	男女共同参画計画策定委員会委員報償			
県支出金(千円)			61	男女共同参画推進懇話会委員報償			
市債その他(千円)			239	男女共同参画計画書印刷製本費			
一般財源(千円)	4,902	413				88	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	策定した第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画について進行管理を適切に行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	国や県の計画、策定委員会などの意見をもとに策定をした第3次計画に位置付けられた各施策の実施について、男女共同参画推進懇話会の意見を踏まえつつ、推進していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	一般	2	1	9	
施策	男女共同参画社会づくり	担当課室	市民活動推進課			
		担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	庁内における男女共同参画意識を推進するため、市管理職を対象とした男女共同参画研修を実施する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	男性向け育児冊子の検討、防災分野での男女共同参画の推進等を行う。
②①に基づく取組み結果	コロナ禍により研修等は実施しなかったが、情報誌(センターニュースほほえみ)の発行や、新規事業「おとう飯レシピの募集」を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・市職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	男女共同参画意識の醸成を図る
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	多様化するニーズに応じ、今後も性別の違いによる社会参加、育児参加の機会の差を解消する環境を整える必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	おとう飯レシピの募集 6件 情報誌の発行 1回 ポスター配架30件						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	男女共同参画週間	130	307	0	人	業務取得
	ii	情報誌の発行	4	2	1	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	6,323	4,112	金額(千円)	内容		5,929	
国支出金(千円)			2,529	パートタイム会計年度任用職員報酬			
県支出金(千円)			805	女性のための相談業務委託			
市債その他(千円)			36	一時保育業務委託			
一般財源(千円)	6,323	4,112				5,929	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	コロナ禍によりイベントや講座の実施が困難なことが考えられる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	新しい生活様式に沿った男女共同参画推進の啓発を効果的に行うための方法を、検討していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	各種相談に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	12	
政策	計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	地方分権と市民参加の推進	担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	新型コロナウイルス感染防止のため、相談受付可能枠を制限する等の対策を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	各種相談を通じて、安心した市民生活や市民福祉の向上を図る。
②事務事業の概要	市民が社会生活を営む中で発生する様々な問題の解決を援助するため、各種相談を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化社会、高度情報化社会などの急速な生活環境の変化によって、相談内容も多岐多様となってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	各種相談の年間受付件数は297件であり、昨年度と比較して142件減少した(減少の主な要因としては、新型コロナウイルス感染防止対策により受付可能枠を制限したため)。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	相談件数	448	439	297	件 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	1,716	1,394	金額(千円)	内容		1,722
国支出金(千円)			1,394	弁護士報償		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,716	1,394				1,722

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民生活にかかる各種トラブルに関する問い合わせが多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種相談に対する市民ニーズが高く、より効率的な体制を整える必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	人権施策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	地方分権と市民参加の推進	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	法務省における令和2年度の啓発活動重点目標を踏まえ、ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別解消のため、ハンセン病についての正しい知識、関心と理解を深める啓発に取り組む。	③令和3年度に取り組む改革・改善内容	人権講演会について、来年度以降の再開を目指し協議会と方法の検討など連携していく。
②①に基づく取り組み結果	コロナ禍によりイベントは実施しなかったが、人権に関する冊子の配布や広報による人権啓発を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	人権相談や啓発活動を通じて人権尊重を図る。
②事務事業の概要	基本的人権を擁護するため、人権擁護委員と連携して相談業務及び啓発活動を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	SNSを介したいじめやトラブルの増加に加え、コロナウイルスの感染拡大に伴い感染者や医療従事者に対する差別的な扱いも取り沙汰されるようになり、時事的な出来事に対しても注視し、情報を発信する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	人権擁護委員による相談事業及び人権週間における周知広報。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	かまがやヒューマンフェスタ	422	417	0	人	業務取得
	ii	人権講演会	482	491	182	人	業務取得(R2は啓発物資配布)
	iii	人権教室	1294	1242	552	人	業務取得(R2は啓発物資配布)
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	734	348	金額(千円)	内容		818	
国支出金(千円)				1	啓発活動に伴う需用費		
県支出金(千円)	236	0		296	市川人権擁護委員協議会負担金	330	
市債その他(千円)				50	千葉県人権センター負担金		
一般財源(千円)	498	348				488	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	人権教室、人権講演会についてコロナ禍に対応した実施方式の検討が必要となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域住民が安心して暮らせる環境として、人権の擁護や保証は不可欠であるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	一般	2	1	13	
施策	個性豊かなコミュニティづくり	担当課室	市民活動推進課			
		担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞き、より良い施設の管理運営を行っていく。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者からの意見聴取を実施し、より良い施設の管理運営を行っていく。
②①に基づく取組み結果	指定管理者へのモニタリング、利用者からの意見聴取、個人利用の導入検討などを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成の場となるよう適正な管理運営を行う。
②事務事業の概要	コミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	指定管理者へのモニタリング、利用者から意見聴取、個人利用の導入検討などを行い、必要に応じて改善を講じた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	1施設当たりの利用者数	16,605	15,553	8,028	人	業務取得
	ii	1施設当たりの管理運営費	7,238	6,670	9,021	千円	業務取得
	iii	一人当たりの管理運営費	436	429	1,124	円	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算		
事業費(千円)	40,311	54,126	金額(千円)	内容	51,130		
国支出金(千円)			16,299	指定管理料			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	40,311	54,126			51,130		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	指定管理者制度が導入されている3館については、モニタリング等で指定管理者に対して適正な管理を行い、継続的に市民サービスの向上を図っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流の拠点となっており、高齢化が進む中、地域住民にとっての価値が高まっているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		R1からの繰越		
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	令和3年度への繰越額(単位:千円)					0

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	前年度から実施している粟野コミュニティセンター空調機改修工事を行う他、鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事及び鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、粟野コミュニティセンターのトイレ改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	粟野コミュニティセンター空調機改修工事、鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託の他、くぬぎ山コミュニティセンター空調吸収式冷温水機修繕及び鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、粟野コミュニティセンタートイレ改修工事設計委託を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	計画的に改修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化計画に基づき、経年劣化した施設の外壁、屋上防水等の改修を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	粟野コミュニティセンター空調機改修工事、鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託の他、くぬぎ山コミュニティセンター空調吸収式冷温水機修繕及び鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、粟野コミュニティセンタートイレ改修工事設計委託を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	利用者数	99,627	93,361	48,166	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	17,858	32,907	金額(千円)	内容		50,310	
国支出金(千円)		10,119	5,830	くぬぎ山コミュニティセンター空調吸収式冷温水機修繕		7,474	
県支出金(千円)			2,827	鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託			
市債その他(千円)	11,400	18,000	3,465	鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、粟野コミュニティセンタートイレ改修工事設計委託		37,400	
一般財源(千円)	6,458	4,788	20,785	粟野コミュニティセンター空調機改修工事		5,436	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生する前に予防的な改修を行うことにより経費を抑制することが課題となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化計画に基づき、今後も計画的な整備が必要となるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	くぬぎ山コミュニティセンター空調吸収式冷温水機修繕 鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託 鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央、粟野コミュニティセンタートイレ改修工事設計委託 粟野コミュニティセンター空調機改修工事	71,043	71,043	当初	3,820	R1からの繰越	20,785
③達成状況	完了			R1⇒R2繰越	27,870		
④未完了・非着手の理由				補正	39,353		
		流用・充当	0				
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				29,250	



令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	一般	2	1	9	○
施策	個性豊かなコミュニティづくり	担当課室	市民活動推進課			
		担当課室長	平野 裕平			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業及び富岡自治会集会所借家事業への補助を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	桐高台自治会集会所の新築事業の他、富岡自治会集会所借家事業および道野辺あおば自治会集会所借家事業への補助を引き続き実施する。
②①に基づく取組み結果	三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業が完了した。また、道野辺あおば自治会及び富岡自治会集会所の持続的な運営に寄与した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	集会所の新築等を予定する自治会	意図(対象をどうするのか)	地域のコミュニティ活動の拠点となる自治会集会所の支援を行うことで自助意識の醸成をはかる。
②事務事業の概要	防犯・防災活動や環境美化活動など、地域のコミュニティ活動の拠点となる自治会集会所の新築等に際し補助金を助成するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	老朽化している集会所が数か所あり、今後も計画的な整備が必要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業、道野辺あおば自治会及び富岡自治会集会所の借家事業に対して補助金を交付した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	建築基準法改正(昭和56年)以降に建築された集会所を有する自治会集会所	23	24	24	自治会	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	2,170	24,980	金額(千円)		内容	16,980	
国支出金(千円)			24,500		三井鎌ヶ谷自治会集会所解体・新築事業		
県支出金(千円)			300		富岡自治会集会所借家事業		
市債その他(千円)			180		道野辺あおば自治会集会所借家事業		
一般財源(千円)	2,170	24,980				16,980	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	集会所の建替を希望する自治会への相談対応や、集会所を所有していない自治会への借家事業への案内など、地域の実情を反映した事業を行えるよう支援する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	老朽化している集会所が数か所あり、今後も計画的な整備が必要となるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	三井鎌ヶ谷自治会集会所解体・新築事業、富岡自治会集会所借家事業、道野辺あおば自治会集会所借家事業	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	三井鎌ヶ谷自治会集会所解体・新築事業、富岡自治会集会所借家事業、道野辺あおば自治会集会所借家事業	24,980	24,980	当初	24,980	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	24,980
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0	